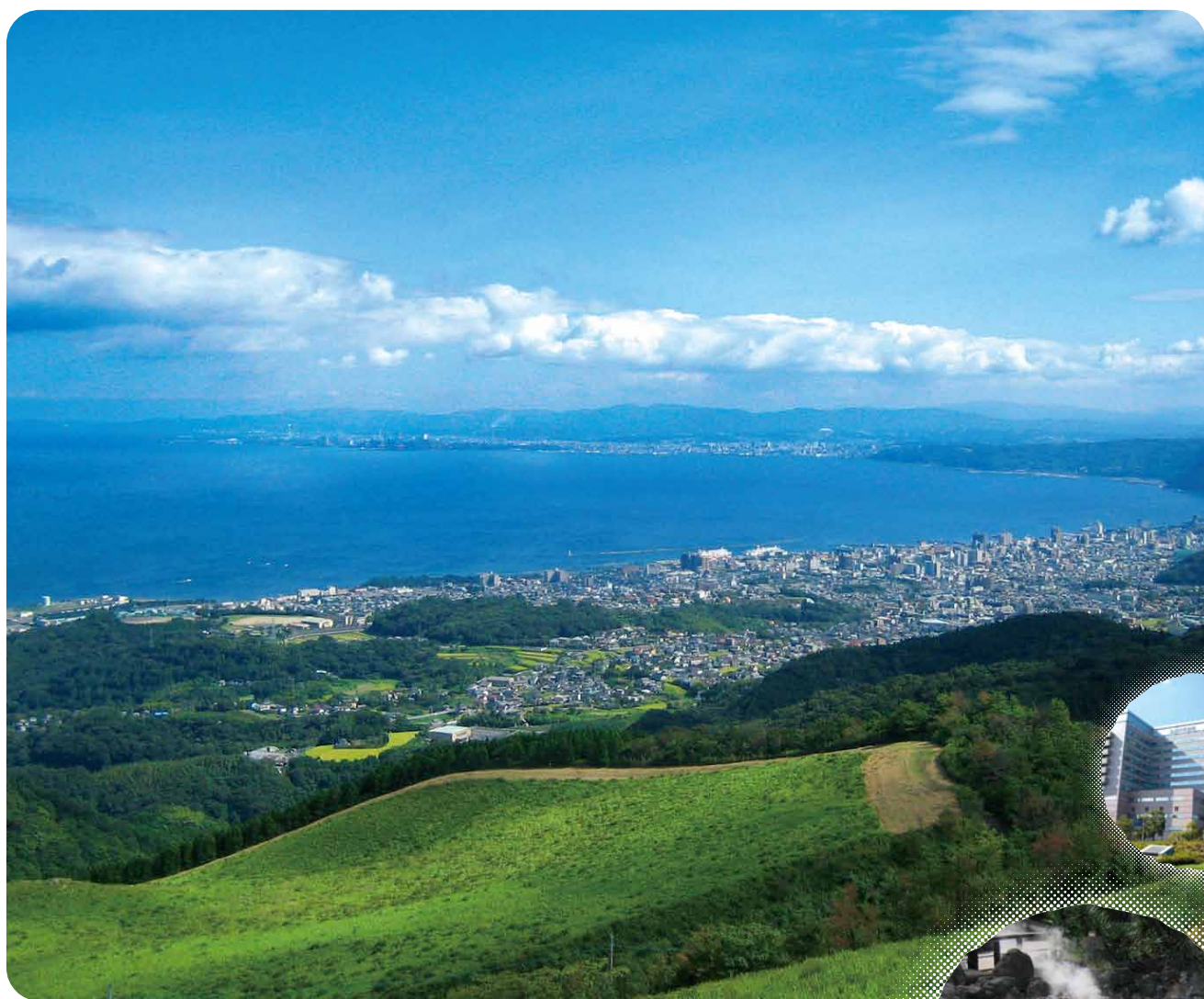


第3回 造血器腫瘍免疫療法 研究会学術集会

プログラム・抄録集

トランスレーショナルリサーチの活性化にむけて



会期 2011年 8月20日 [土]・21日 [日]

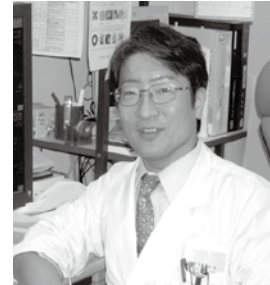
会場 ホテル白菊 大分県別府市

会長 谷 憲三郎 九州大学生体防御医学研究所 ゲノム病態学分野
九州大学病院 先端分子・細胞治療科

第3回造血器腫瘍免疫療法研究会学術集会の開催にあたって

九州大学生体防御医学研究所ゲノム病態学分野
九州大学病院先端分子・細胞治療科

谷 憲三朗



はじめに、3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」において犠牲となられました多くの方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、現在も被災地におきましてその復興に向けた多大な努力をなさっている多くの方々に深甚なる敬意と感謝を表させていただきますたく存じます。

このような時期に、第3回造血器腫瘍免疫療法研究会学術集会を開催すべきか否かにつきましては、震災後約2ヶ月間熟慮させていただきました。このような時期だからこそ、われわれ医療・医学研究者にしかできない分野での被災地および日本全体への将来的貢献をめざした学術活動を、積極的に行うべきであるとの力強いご意見を多く頂戴し、同研究会会長としての任を果たすべく、平成23年8月20日(土)・21日(日)の2日間、大分県別府市のホテル白菊において、本学術集会を開催させていただくはこびとなりました。このような背景から、準備過程におきまして不十分な点も多く、会員の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

本研究会は、特に免疫療法の中でも、極めて成功を収めている造血器腫瘍を主な対象とした免疫療法研究会です。現在、同種免疫を巧みに利用した造血細胞移植療法は高い成功を収めてはいますが、その開発過程は極めて険しいものでした。私共血液腫瘍学・血液腫瘍臨床を志す医療人にとって、先人が築かれたこの見事な「免疫細胞療法」をお手本とし、さらに進化した免疫療法の開発を行い、現在造血細胞移植療法の適応にならない患者様を治療していくことは、重要な任であると考えています。そして、我々が開発した新たな免疫療法は、必ずや現在治療法のない固形腫瘍に苦しんでおられる患者様に対しても、有用な治療法に成るものと確信しております。

このような理念のもと、本研究会年次学術集会では、日本国内で白血病・リンパ腫を中心とした、造血器悪性腫瘍に対する各種免疫療法の開発研究や、担がん患者の抗腫瘍免疫応答の解析・免疫治療法開発研究を積極的に行っている大学や研究機関の研究者、あるいはその治療に携わる医療従事者が、年1回一堂に会して、多くの研究発表と活発な討論を行う場として、有志により2009年に設けられました。第1回集会は杉山治夫会長のご尽力で開催され、今回に至っております。この間、本分野では新しい免疫関連分子の発見や、それらを用いた治療法の開発、T細胞遺伝子治療法の開発、iPS(人工多能性幹)細胞を用いた新規免疫療法の開発などの新しい研究分野が臨床応用に向けて模索されています。今後、これらの基礎研究での成果を、早期に臨床へ展開する為の「トランスレーショナルリサーチ」がより積極的に本邦でも行われていくことが強く期待されています。第3回学術集会では通常の学術発表に加え、本研究会として上記の点に対してどのように積極的にかかわっていくべきかについても議論をしていただき、今後のさらなる本研究会の発展に繋げていければと願っております。会員の皆様の活発な情報交換会となりますことを心より願っております。

最後に、会員の皆様のご協力、並びに本研究会開催にご賛同頂きました企業の皆様からの多大なるご理解・ご支援のおかげで、本研究会の開催が可能となりましたことを、心より感謝申し上げます。

交通のご案内

学会会場 **ホテル白菊**

〒874-0908 別府市上田の湯町 16-36

TEL : 0977-21-2111 (代表)



■ JR をご利用の場合

別府駅西口より徒歩 6 分(青山通りを山側へ)、車で 3 分

■ 車をご利用の場合

大分自動車道・別府 IC より車で海側へ約 13 分

■ 飛行機をご利用の場合

大分空港より、車で約 40 分 空港バスで約 40 分 (北浜バス停から車で約 5 分)

■ 船をご利用の場合

別府観光港より、車で約 10 分

日 程 表

8月20日(土)

11:00	受付開始
12:00	運営委員会
12:55	開会の挨拶
13:00	Session I (1～4) 座長: 下田和哉・藤井眞一郎
14:00	Session II (5～9) 座長: 小笠原正浩・中尾真二
15:15	休 憩
15:30	Session III (10～14) 座長: 岡芳弘・三森功司
16:45	Session IV (15～19) 座長: 村井一範・村田誠
18:00	会長講演 司会: 小澤敬也
18:30	総会
18:50	
19:00	懇親会

8月21日(日)

8:00	受付開始
8:30	Session V (20～23) 座長: 高橋益廣・門脇則光
9:30	Session VI (24～28) 座長: 高橋聡・赤塚美樹
10:45	Session VII (29～32) 座長: 大屋敷一馬・藤原弘
11:45	閉会の挨拶
11:50	次期会長の挨拶
11:55	

8月20日(土)

12:55~13:00 開会の挨拶

13:00~14:00

Session I B 細胞免疫・新規抗体療法

座長：下田和哉・藤井眞一郎

1 Siva-1 は Tyk2 と会合し、細胞死シグナルを亢進する

○下田 和哉、下田 晴子、幣 光太郎、亀田 拓郎、日高 智徳、片寄 恵子、久富木 庸子、北中 明
宮崎大学 医学部 内科学講座消化器血液学分野

2 Resveratrol prevents EBV-transformation and inhibits the outgrowth of EBV-transformed B cells by blocking NF- κ B pathway

○J. Luis Espinoza, Akiyoshi Takami, Shunichi Kato, Katsuya Nakata, Kayoko Yamada, Shinji Nakao
Cellular Transplantation Biology, Kanazawa University

3 急性移植片対宿主病の予知診断法と分子標的療法の開発

Prediction and development of molecular targeted therapy for acute graft - versus - host - disease

○金谷 穰、鍋倉 宰、広近 玲、渋谷 和子、岡田 昌史、我妻 ゆき子、坂巻 壽、渋谷 彰
筑波大学大学院人間総合科学研究科免疫制御医学

4 臍帯血移植後早期における細胞性免疫再構築

Cellular immune reconstitution in early phase after cord blood transplantation

○高橋 聡、大井 淳、加藤 せい子、河北 敏郎、東條 有伸、渡辺 信和、中内 啓光
東京大学医科学研究所

14:00~15:15

Session II 樹状細胞療法の新展開

座長：小笠原正浩・中尾真二

5 免疫細胞療法における指針について

Regulation and guideline for cell therapy: an update

○森尾 友宏

東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野

6 難治性悪性リンパ腫に対する樹状細胞療法

Dendritic cell therapy for refractory malignant lymphoma

○小笠原 正浩、佐賀 智之、江端 浩、山川 知宏、嶋 香菜子、井端 淳、皆内 康一郎、中田 匡信、太田 秀一、今井 陽俊、平野 貞一、木山 善雄、小林 直樹

札幌北楡病院血液内科

7 成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL)に対する樹状細胞免疫療法に向けた、基礎解析と第I相臨床試験コールドラン

Dendritic cell immunotherapy targeting for adult T cell leukemia/lymphoma : Basic analysis and preparation for phase I clinical study.

○笹田 亜麻子、長谷川 温彦、清水 由紀子、末廣 陽子、鵜池 直邦、豊嶋 崇徳、谷 憲三朗、森尾 友宏、福田 哲也、三浦 修、宇都宮 興、神奈木 真理

東京医科歯科大学 免疫治療学

8 RNF43 ペプチドパルス樹状細胞ならびに RNF43 ペプチド特異的活性化リンパ球を用いた進行固形腫瘍患者に対する強化養子免疫療法第I相臨床試験

A phase I study of adoptive immunotherapy using autologous dendritic cell pulsed with a RNF43 peptide in patients with advanced solid tumors

○土方 康基、岡崎 利彦、村橋(伊賀)睦了、田中 芳浩、大平 公亮、岡野 慎士、高橋 淳、丸本 朋稔、井上 博之、谷 憲三朗

九州大学病院 先端分子細胞治療科

9 抗原 mRNA と NKT リガンドを提示させた人工アジュバントベクター細胞開発による新規免疫療法のコンセプト

○藤井 真一郎、信賀 順、菅原 英俊、佐藤 悠輔、朝倉 三貴、清水 佳奈子

理研・免疫アレルギー科学総合研究センター、免疫細胞移植戦略研究ユニット

15:15~15:30 休 憩

15:30~16:45

Session III 新規ペプチドワクチン療法

座長：岡芳弘・三森功司

10 オリゴマンノース被覆リポソームワクチンによる HTLV-1 特異的 CTL の誘導

Oligomannose-coated liposomes efficiently induce HTLV-1-specific CTLs as a prophylactic against ATL

○小迫 知弘、平田 真哉、清水 佳隆、有馬 直道
福岡大学・薬学部

11 骨髄異型性症候群に対する低容量WT1ペプチドワクチン療法

Reduced dose of WT1 peptide-immunotherapy for myelodysplastic syndrome

○坪井 昭博、保仙 直毅、川上 学、岡 芳弘、尾路 祐介、西田 純幸、中田 潤、森本 創世子、杉山 治夫
大阪大学 癌ワクチン療法学

12 再発ハイリスク寛解期 AML に対する WT1 ペプチドワクチン治療による長期生存・治癒の可能性

Induction of long survival or a cure by WT1 peptide vaccination for AML patients with CR but high risk for relapse

○岡 芳弘、坪井 昭博、許 泰一、片山 雄太、川上 学、Elisseeva Olga、村尾 綾子、森本 創世子、中島 博子、保仙 直毅、西田 純幸、中田 潤、中江 吉希、尾路 祐介、熊ノ郷 淳、杉山 治夫
大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学

13 IFN- β 併用投与による WT1 ペプチドワクチンの造血器腫瘍に対する拒絶効果の増強

WT1 peptide vaccination combined with IFN- β is more efficient for hematopoietic tumor eradication than WT1 peptide vaccination alone

○中島 博子、岡 芳弘、坪井 昭博、辰巳 直也、藤木 文博、保仙 直毅、西田 純幸、尾路 祐介、杉山 治夫
大阪大学大学院医学系研究科 癌免疫学

14 腫瘍抗原と免疫寛容を標的とした進行・再発固形腫瘍に対する抗腫瘍免疫療法の試み（第I相臨床試験）

New strategy of antitumor immunotherapy targeting both tumor antigen and immune tolerance (Phase I clinical trial)

○村橋(伊賀)睦了、岸本 淳司、平川 雅和、岡野 慎士、土方 康基、田中 芳浩、井上 博之、丸本 朋稔、高橋 淳、岡崎 利彦、谷 憲三朗
九州大学病院 先端分子細胞治療科

16:45~18:00

Session IV 免疫寛容克服と抗腫瘍免疫

座長：村井一範・村田誠

15 マウス間葉系幹細胞 (MSC) による Th17 分化の抑制

Mesenchymal stem cells regulate Th17 differentiation.

○多々良 礼音、尾崎 勝俊、翁 家國、目黒 明子、松 春子、佐藤 一也、永井 正、室井 一男、小澤 敬也
自治医科大学内科学講座血液学部門

16 LOH による初発時白血病細胞上のクラス I HLA 欠失

Loss of class-I HLA expression on leukemic cells at diagnosis by LOH

○近藤 恭夫、佐治 博夫、小川 誠司、中尾 眞二
金沢大学附属病院高密度無菌治療部

17 HLA 不一致骨髄移植後患者における HLA 特異的 CTL からの白血病エスケープ

Leukemia escape from the HLA-specific CTL pressure after bone marrow transplantation

○加藤 智則、村田 誠、寺倉 精太郎、杉本 恭子、西田 徹也、直江 知樹
名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

18 COX-2 blockade suppresses gliomagenesis by inhibiting myeloid-derived suppressor cells

○藤田 貢、Gary Kohanbash、John R. Ohlfest、岡田 秀穂
愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部

19 乳癌、胃癌における CD47 発現の臨床学的重要性

○主藤 朝也、永原 誠、三森 功士、高橋 佑典、澤田 元太、石橋 正久、岩谷 岳、赤木 智徳、田中 文明、柴田 浩平、森 正樹
九州大学病院別府病院 外科

18:00~18:30 会長講演

座長：小澤敬也

「腫瘍免疫療法：トランスレーショナルリサーチから一般医療への展開」

九州大学生体防御医学研究所ゲノム病態学分野

九州大学病院先端分子・細胞治療科

谷 憲三郎

18:30~18:50 総会

19:00~ 懇親会

8月21日(日)

8:00～ 8:30 受付開始

8:30～ 9:30

Session V 慢性骨髄性白血病に対する免疫療法

座長：高橋益廣・門脇則光

20 imatinib 併用 WT1 ペプチドワクチン療法により MMR に至った CML 例における WT1-tetramer 陽性 CD8+ 細胞の動態

Long-term maintenance of WT1-tetramer+CD8+ cells in a patient with CML who achieved to MMR by WT1 peptide vaccine combined with imatinib

○成田 美和子、増子正義、山平晶恵、井田桃里、北嶋章子、北嶋俊樹、鳥羽 健、古川達雄、高橋益廣
新潟大学大学院保健学研究科 血液腫瘍学

21 慢性骨髄性白血病のイマチニブ中止可能症例では NK 細胞増加がみられる

○大屋敷 一馬、片桐 誠一郎、田内 哲三、後藤 明彦、大屋敷 純子、前田 裕弘、松村 到、許 泰一
東京医科大学・血液内科

22 ダサチニブ治療後の胸水発現例における胸水細胞に関する検討

Different cell population between peripheral blood and pleural effusion in cases of dasatinib-induced lymphocytosis with pleural effusion.

○村井 一範、峯貴浩、藤島行輝、小宅達郎、筑紫 泰彦、泉田 亘、鈴木 雄造、古和田 周吾、菅原 健、伊藤 薫樹、石田 陽治
岩手医科大学 血液・腫瘍内科

23 ABL キナーゼ阻害薬ダサチニブによるヒト形質細胞様樹状細胞の機能抑制

Protein kinase inhibitor dasatinib potently suppresses immunostimulatory activity of human plasmacytoid dendritic cells

○藤田 晴之、北脇 年雄、内山 卓、高折 晃史、門脇 則光
京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

09:30～10:45

Session VI 造血細胞移植後造血再構築と再発抑制免疫誘導

座長：高橋聡・赤塚美樹

24 Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria (PNH) 8 症例における Eculizumab の効果および安全性

Effectiveness and safety of treatment with Eculizumab in 8 patients with PNH

○野地 秀義、七島 勉、高橋 裕志、小川 一英、竹石 恭知
福島県立医科大学医学部 循環器・血液内科学講座

25 自然免疫賦活による記憶免疫誘導

○清水 佳奈子、朝倉 三貴、信賀 順、菅原 英俊、佐藤 悠輔、藤井 眞一郎
理研・免疫アレルギー科学総合研究センター、免疫細胞移植戦略研究ユニット

26 同種造血幹細胞移植後難治性 CMV 感染患者における CMV 抗原特異的 T 細胞機能低下のメカニズム

Exhaustion of Cytomegalovirus specific T cells after allogeneic stem cell transplantation

○加藤 智則、西田 徹也、村田 誠、直江 知樹
名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

27 同種移植後再発予防・治療を目的としたマイナー抗原ワクチン臨床試験の中間報告

○赤塚 美樹、森島 泰雄、田地 浩史、山本 一仁、宮村 耕一、高橋 利忠、小寺 良尚、恵美 宣彦、葛島 清隆
藤田保健衛生大学医学部血液内科

28 同種造血幹細胞移植後の WT1 ペプチドワクチンによる免疫療法

WT1 peptide vaccination following allogeneic stem cell transplantation in pediatric leukemia patients

○橋井 佳子、松村 梨沙、吉田 寿雄、宮下 恵実子、太田 秀明、坪井 昭博
大阪大学小児科学

10:45～11:45

Session VII 抗白血病免疫遺伝子治療法の開発

座長：大屋敷一馬・藤原弘

29 ヒト CD8 T 細胞由来 iPS 細胞の樹立と再分化の試み

Generation of T-lineage cells from iPS cells of peripheral CD8 T cell origin

○金子 新、西村 聡修、中内 啓光

東京大学 医科学研究所 幹細胞治療分野

30 抗 CD38 レセプターを有するT細胞は BMI-1 と survivin の高発現による難治性 B リンパ腫に有効である

CD38-specific T cells abrogate refractory B-lymphoma cells with BMI-1-induced survivin overexpression

○三原 圭一朗、バタチャリーヤ ジョイータ、瀧原 義宏、星 正治、木村 昭郎

広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野

31 成人T細胞白血病に対する hTERT 特異的 TCR 遺伝子を用いた新たな細胞免疫療法

hTERT is an immunogenic antigen for a novel gene-immunotherapy against adult T-cell leukemia

○宮崎 幸大、藤原 弘、越智 俊元、朝井 洋晶、永井 功造、石田 高司、岡本 幸子、峰野 純一、葛島 清隆、珠玖 洋、安川 正貴

愛媛大学生体統御内科学

32 CCL2-CCR2 クロストークは WT1 特異 TCR 遺伝子を導入した人工 CTL の輸注後生体内での抗腫瘍活性を増強する

(CCL2-CCR2 axis potentiates the anti-cancer reactivity mediated by gene-engineered WT1-specific CTLs)

○朝井 洋晶、藤原 弘、越智 俊元、安 軍、白方 俊章、永井 功造、宮崎 幸大、峯野 純一、葛島 清隆、珠玖 洋、安川 正貴

愛媛大学大学院医学系研究科生体統御内科学

11:45～11:50

閉会の挨拶

11:50～11:55

次期会長の挨拶